

在学生のみなさんへ

2012年度からのカリキュラム変更のお知らせ

人間環境学部では、来年度からカリキュラムの変更を実施します。今まで「昼夜開講制度」により昼と夜と2回開講してきた科目を1回のみとする代わりに、新しい科目が増えるカリキュラムとなります。したがって皆さんに不利益はありませんが、つぎの3点のいずれかに該当する人は、予め以下の説明を読んで頂き、必要に応じて今年度後期の履修計画の参考にしてください。

1. 今年度前期までに「人間環境学入門」「環境科学入門」の単位を修得できなかった学生
2. 教職課程を履修し、教育職員免許を取得しようとしている学生
3. 1・2年生、および3年生で語学（必修）の卒業所要単位をまだ満たしていない学生

1. 「人間環境学入門」「環境科学入門」の再履修

来年度から、この2科目は一つにまとまって「人間環境学への招待」という科目（前期2単位）になります。

- 「人間環境学入門」の再履修者は、この「人間環境学への招待」を履修してください。
- 「環境科学入門」の再履修者には、別に振り替え科目が用意されます。自然科学分野の展開科目の中に新設される予定の「(仮称) **自然環境科学の基礎**」3種類（それぞれ2単位）の中の1つ、または学部が指定する自然科学分野の科目群の中から選択科目を1つ選んで修得することにより、「環境科学入門」の単位に振り替えることができます。どの科目が単位振り替え科目になるかは、追ってお知らせします。

2. 教職課程の教科に関する科目の変更(科目の改廃)

以下の科目は今年度かぎり廃止（予定）されます。ただし、これらに替わり新たに開設する科目が教科に関する科目として用意されます。また、これまでに修得したこれらの科目はそのまま教科に関する科目として認められます。

- ・ 製造物責任法
- ・ 人間存在基礎論（現在、休講中）
- ・ 異文化の交流
- ・ 比較社会史

これら廃止となる科目の他に、一部で名称変更される科目もあります。廃止科目の代替新設科目とあわせて、追ってお知らせします。

3. 語学の履修について

人間環境学部では、2012年度の入学生から、2言語必修のカリキュラムになります。皆さんは入学時のカリキュラム通り1言語必修で、大卒の変更はありません。ただし細部で（科目の新設・

廃止や、時間割の必修語学ゾーン等について)、次のような変更が予定されており、時間割を組むうえで多少の影響がある場合があります。特に再履修になると、再履修者用のクラスの時間帯に制約が生じる場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

(1)英語

I. 2012年度の履修方法

(1) 市ヶ谷基礎科目の英語について

2年次必修クラスの曜日・時限は次のようになります。

「英語3-I・II」：A～Gクラスは月曜1限、Hクラスは火曜7限。

「英語4-I・II」：A～Gクラスは木曜1限、Hクラスは木曜7限。

選択科目の「英語特講」は2012年度まで開講されます。

(2) 学部スキルアップ科目について

「英語I～IV」は2011年度と同様に開講され、新しく半期科目「テーマ別英語」が1クラスのみ開講されます。「テーマ別英語」とは、本学部の専門分野に関わりのある小テーマについて、英語による講義・ディスカッションを基本とするクラスです。2012年度は「(仮称)キャリア入門」が開講されます。

(3) 再履修や振り替えの方法について

1年次必修英語の単位を修得していない場合、新カリキュラムの1年次必修英語クラスを履修することはできません。上記(1)の選択科目の「英語特講」または(2)の学部スキルアップ科目(アクティブ語学：英語I～IV)の中から必要単位を修得することが必要となります。ただし、学部スキルアップ科目(アクティブ語学：英語I～IV)を必修語学の単位に振り替えることができるのは、これまで通り4単位までです。(英語特講の必修語学の単位への振り替えに上限はない予定です。

II. 2013年度以降の履修方法

(1) 市ヶ谷基礎科目の英語について

「英語特講」は廃止となり、「選択英語」が開講されます。実質的には、**Oral Communication、English through Movies and Dramas、Business English** ほか種類が増え、選択の幅が広がります。TOEICと英検準備のクラスも開講されますが、すでに「英語特講」で同一内容の授業を修得した場合は、再度履修することはできません。

(2) 学部スキルアップ科目について

「英語I～IV」はレベル・内容ともに大きな変更はありませんが、開講クラス数が減少し、「英語I」のみ2クラス、他は1クラスずつの開講となります。「英語I～IV」の減少分に代わって新しい半期科目「テーマ別英語」が全5クラス開講となります。

(3) 再履修や振り替えの方法について

1年次・2年次の必修英語の単位を修得していない場合、新カリキュラムの1年次および2年次の必修英語クラスを履修することはできません。上記(1)の「選択英語」または(2)の学部スキルアップ科目(アクティブ語学：英語I～IV)の中から必要単位を修得することが必要となります。ただし、学部スキルアップ科目(アクティブ語学：英語I～IV)を必修語学の単位に振り替えることができるのは、これまで通り4単位までです。

(2)英語以外の諸外国語

1) 市ヶ谷基礎科目の必修諸語について

現カリキュラムの2年次必修クラスは、各語とも1クラスが、以下の曜日・時間で開講されます。
皆さんはこちらを履修してください。

「諸語3-I・II」：すべて水曜日5限（予定）

「諸語4-I・II」：ドイツ語・フランス語・スペイン語は木曜日1限（予定）

中国語・ロシア語は木曜日2限（予定）

2) 市ヶ谷基礎科目の選択外国語について

現在は、各語ともA～Cが数コマずつ開講されています（朝鮮語はA・Bのみ）。2012 および2013年度は現行よりコマ数を減らして開講されます。開講日・時間に注意してください。

なお、2014年度以降は廃止されます。

3) 人間環境学部のスキルアップ科目について

2012年度以降、学部スキルアップ科目のうち、アクティブ語学：中国語I～IVは開講されません。

2012年度以降も、学部スキルアップ科目のうち、アクティブ語学：英語I～IVは引き続き開講されます。必修語学の単位にはこれまで通り、4単位まで振り替えることができます。

4) 再履修や振り替えの方法について

4-1 1年次必修諸語の単位を取得できなかった場合：

①2012年度：新カリキュラムの1年次必修諸語クラス、あるいは対応する上記2)の選択外国語Aを受講することができます。

②2013年度：新カリキュラムの1年次必修諸語クラス、あるいは対応する上記2)の選択外国語Aを受講することができます。

③2014年度：新カリキュラムの1年次必修諸語クラスを受講することができます。

4-2 2年次必修諸語の単位を取得できなかった場合：

①2012年度：上記1)の旧カリキュラムの2年次必修諸語クラス、あるいは対応する上記2)の選択外国語Bを受講することができます。

②2013年度：新カリキュラムの2年次必修諸語クラス、あるいは対応する上記2)の選択外国語Bを受講することができます。

③2014年度：新カリキュラムの2年次必修諸語クラスを受講することができます。

※選択外国語A～Cは2014年度以降は開講されません。

○以上について、2012年度初めの学年別ガイダンスで詳しく説明します。それを聴けば支障ありませんが、今のうちから質問がある場合は、学部窓口にお問合せください。

(教授会主任 梶 裕史)